

2016年

2月6日(土) 13時〜16時30分

会場 山本能楽堂 (国登録有形文化財)



「巴」(ともえ)

木曾の山里の僧が、都へ上がる途中、近江国(滋賀県)栗津の原までやって来ます。そこへ一人の里女が現れ、とある松の木陰の社い参拝しながら涙を流しています。不審に思った僧が言葉をかけると、女は行教和尚も宇佐八幡へ詣でられた時、「何ごとのおはしますとは知らねども、忝さに涙こぼる」と詠まれたように、神社の前で涙を流すことは不思議ではないといい、ここはあなたと故郷を同じくする木曾義仲が神として祀られているところであるから、その霊を慰めてほしいと頼みます。そして実は自分も亡者であると言いつつ、夕暮れの草陰にかくれてしまいます。そして僧は、一夜をここで明かすべく読経し、亡き人の跡を申します。すると、先刻の女が、長刀をもち甲冑で現れ、自分は巴という女武者であると名のります。そして、義仲の討死の様と、その時の自分の奮闘ぶりを物語ります。しかし義仲の遺言により一緒に死ぬことが許されず、形見の品をもって一人落ちのびたが、心残りが成仏のさまたげとなっているので、その執心を晴らしてほしいと回向を願って消え失せます。

今回は、巴御前の霊が女武者姿で現れた所から上演します。

●プログラム

13時30分〜 ハープ演奏 松岡 莉子

14時30分〜 能「巴」

15時30分〜 ハープ演奏 松岡 莉子

※演目ならびに出演者は都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承くださいませ。

●入場料 2000円 <全席自由>

●チケットお取り扱い

ホームページ <http://noh-theater.com>

TEL 06-6943-9454

●主催・お問い合わせ

公益財団法人  
山本能楽堂

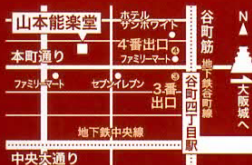
(大阪市中央区徳井町1-3-6)

[TEL] 06-6943-9454

[FAX] 06-6942-5744

【アクセス】

地下鉄谷町・中央線「谷町四丁目」駅下車4番出口より徒歩約2分  
谷町筋に沿って北へ。1筋目(ホテルサンホワイト)手前を左折。一筋超えてすぐ左手。



半能「巴」

シテ(巴御前の霊) 林本 大

笛 赤井要佑

小鼓 古田知英

大鼓 森山泰幸

地謡 波多野晋

今村哲朗

上野雄介

後見 前田和子



中野天心 TENSIN NAKANO

京都名門華道家の家に生まれる。

18歳から花の勉強を始め、1995年文化親善大使としてイタリアへ渡る。大学卒業後、独学で色彩学を学び Flower Shop での花の修行を積んだ後、1999年クリエイティブフラワースクール「HANA-SPACE」を設立する。2000年いけばなインターナショナルのメインデモンストレーターに選任されインドへ、2001年には文化親善大使としてウクライナへ渡り、海外でのデモンストレーションを成功させる。2002年世界水フォーラム関連事業にて、花・水・炭を使ったインスタレーションを成功させる。飲食店やサロンなどでの花のプロデュース、盆栽・坪庭の制作をはじめ、2003年には京都 caras にてリー・ヴィトン社のシャンパン「ヴウ・クリコ」とコラボレートするなど、幅広く活躍中。さらに、現在活躍中の建築デザイナー/インテリアデザイナーの森田恭通、鄭秀和、安藤忠雄、三島悟、小林敏哉やグラフィックデザイナーの山城滋、総合プロデューサーの尾谷憲一らと共に店舗作りに関わるなどますます活動の幅を広げている。2004年日本ディスプレイデザイン賞入選。現在、HANA-SPACE 代表・株式会社 ECLAT 代表取締役社長。



松岡莉子 RICO MATSUOKA -Rico-

アイルランドやスコットランドなど本場のケルト音楽を演奏するハープ奏者。

14歳でアイルリッシュハープ、グランドハープを始め、上場企業にて勤務経験を積みながら、数々のイベント、演奏会に出演。

これまでにラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(東京)・堺市 21 コンサートをはじめ、展示会やパーティー演奏等、様々な企画演奏会に出演。

近年は、アイルランド、スコットランドの国際ハープフェスティバルに参加し、著名演奏家のワークショップ、マスタークラスに多数参加。第14回大阪国際音楽コンクール民族楽器部門ファイナリスト。

2016年よりハープの勉強のためスコットランドへ留学予定。ハープと紅茶が大好き。